

滋賀

GPN

News

第28号 2015年8月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース

滋賀GPNキャラクター エコペン



環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

会長就任に寄せて

会長 秋山 道雄



6月5日の総会において、土屋前会長からバトンを受けた秋山です。今年3月に滋賀県立大学環境科学部を退職するまでの20年間、同学部で研究と教育に携わってきました。

1990年代の前半に、滋賀県庁の熱心な職員が組織として環境配慮型の製品やサービスを購入するという動きを始めたのを、比較的近いところで見ておりました。大口の購入者が積極的に環境配慮型の製品やサービスを購入すれば、その市場を広げるだけでなく、同じような購買行動を誘発する可能性も広がっていきます。全国的にみても先駆的な動きが滋賀県で展開し始めたのは、それまでの四半世紀にわたる琵琶湖の保全活動と無縁ではないでしょう。

1990年代の後半に、県の呼び掛けで滋賀グリーン購入ネットワークが立ち上がり、今日に至る活動を展開してきたことも、滋賀ならではの営みという印象を受けます。創設後15年を経て、会員数が当初の約2倍となる470に上るのも、滋賀という地で事業を展開されている方々に環境配慮への意識と行動が広く共有されていく素地があったからでしょう。

2013年に滋賀グリーン購入ネットワークが一般社団法人化した際に、土屋前会長は法人化した理由を3つあげており、そのうちの1つに「初心に立ち返る」ことの重要性を言及しています。会員の増加は望ましいことですが、組織が大きくなるとともに運営が形式的になりやすいという難点を抱えることにもなりがちです。土屋前会長は、そのあ

たりの機微を察知し、会員が自由闊達に活動できるような運営を心がけてこられたのでしょう。

滋賀グリーン購入ネットワークは、自由闊達な雰囲気の中で会員がそれぞれ持ち味を生かした活動を展開するところに大きな特徴があります。私も、土屋前会長の運営方針に学びながら、本ネットワークの初心に立ち返り、会員の皆さんと共に新たな歩みを進めたいと願う次第です。



三日月知事と談笑する秋山会長（7月14日知事表敬訪問時）

INDEX



- 会長就任に寄せて 1
- 第2期役員紹介 2
◎ 副会長、理事、組織体制図、アドバイザー、監事、幹事
- 「第3回定時会員総会」を開催しました 3
- 滋賀GPN会員でつなぐリレートーク
おおつ環境フォーラム 6

- 「滋賀GPN会員」アピールのお願い 6
- 新規会員からひとこと 7
- 「シンボルマーク」「キャラクター「エコペン」」を活用して企業の環境姿勢をPRしませんか？ 7
- 会員発工商品情報 8
- 編集後記 8

一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク 第2期役員紹介



副会長

(公財)淡海環境保全財団

理事長

力石 伸夫

琵琶湖の環境保全、地球の温暖化防止に加え、経済主体のグリーン購入の推進に取り組んでおりますが、いずれも皆さんとともに進めることができる持続可能な社会を目指す取組で、地道な一歩ずつであります。滋賀GPN一般社団法人化第2期は、グリーン購入の基本に基づき法人化の理念を実現すべく、活動ビジョンに掲げた大・中目標を達成するよう、地道な一歩であるからこそ、いっそうみんなで楽しく取り組んでまいりましょう。



副会長

滋賀県立大学
環境科学部
教授

高橋 卓也

滋賀グリーン購入ネットワークには、まだまだ目の前に挑戦があります。地球温暖化を例にとれば、CO2などの温暖化ガスの排出量、つまり化石燃料の使用量を2050年までに（35年後に）80%削減する、という目標が国際的な合意を得ようとしています。あと35年のうちに、そうした社会に移行する準備は、ここ滋賀の地でできているのでしょうか？ 滋賀は近江商人の「三方よし」の地です。近江商人のような、地道でありつつも、社会にインパクトを与えるネットワークをつくりあげましょう。

理事



旭化成住工(株) 本社滋賀工場
管理部 部長

磯部 浩

旭化成住工は、旭化成グループの総合住宅部材生産会社として「ロングライフ住宅の実現」に取り組むと共に、「人と家族と健康」、「地域社会・近隣との調和」、「環境との共生」を大切に、社会に対する責任や貢献に配慮し、RC活動を積極的に進めてまいります。



(株)沢田商店
代表取締役

沢田 昌宏

人口減少社会においては、経済のもたらす効果を数字で計るのか、質で計るのか、社会の在り方が問われてくるように思われます。環境の事を当たり前として取り組む質の高い経済を、自分たちの生き様として実現していくことが大切ではないでしょうか。まず、自分たちのできることから始め、それを広げていく。それが滋賀GPNの持つネットワークの可能性だと思います。



(株)平和堂
総務部 CSR推進室 室長

吉川 満治

平和堂では、お客様満足度の向上・社員満足度の向上と豊かな地域社会の実現をめざし、人と環境にやさしい商品・サービスの提供を行うとともに、地域への多様なCSR活動に取り組んでいます。この滋賀グリーン購入ネットワークでの活動や参加会員の皆様との連携を通じて更なるレベルアップを図り、持続可能な社会の発展へ貢献をしていきます。



NPO 碧いびわ湖
代表理事

村上 悟

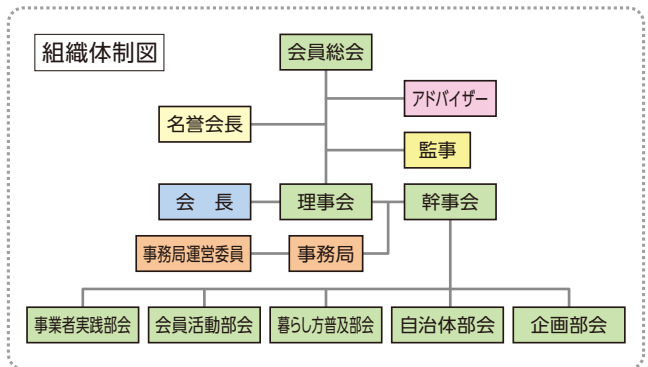
滋賀GPNの会員企業・団体に勤めている人の数は、合わせるとなんと10万人以上になります！ みんなの暮らしと買い物が変われば、びわ湖も人も幸せな、グリーンな経済が滋賀から生まれます。1人の10万歩より、10万人の1歩を。共にはぐくみましょう。「ほんとうの豊かさ」に満ちた暮らしと経済を。



滋賀県
会計管理局次長

東 登志也

現在の複雑化・多様化する環境問題の解決には、県民、事業者、行政などが一体となって資源循環の輪を構築することによる循環型社会の形成が求められています。これまで県では滋賀GPNの会員の皆さんとともに、グリーン購入の推進に取り組んできました。今後もこのネットワークを生かして、環境への負荷が低減された社会の実現に向けて活動していきたいと思っております。



アドバイザー



[環境社会学]
びわこ成蹊スポーツ大学
学長

嘉田 由紀子

行政の政策は誰の視点からくみ上げるべきか? 知事8年間に強く感じたのは、産業経済政策や福祉・教育等「供給側」目線の政策が多いということでした。そこで食の「おいしが・うれしが」や、林業の「木材利用側目線」「子育て三方よし」などを推進してきたのですが、滋賀GPNの需要側目線は実は20年も前から埋め込んでいた! 見事な先駆者だと言えます! 老舗として、これからも頑張っていきましょう!



[環境経済学]
同志社大学
経済学部 教授

郡 嶋 孝

経済活動を支える論理とは何か。人間の合理的な計算や打算(損得)なのか、人々の道徳(倫理)なのか。売り手の経済行為が社会正義(暴利・不公正価格)に基づかず、生活が脅かされる場合、「逆の拮抗力」として、買い手の暴動(一揆)・抵抗(不買)を正当化する「モラル」が作用するという。これを「モラル経済」という。GPNとは、売り手の社会不正義への「拮抗力」としての売り手による「倫理経済」といえる。



[消費者市民教育]
東京都市大学大学院
環境情報学研究科 教授

中原 秀樹

滋賀グリーン購入ネットワークの皆さんこんにちは。アドバイザーに就任させていただいた東京都市大学の中原秀樹です。専門は消費者市民教育、持続可能な消費です。最近国立競技場建設問題で大騒ぎしている東京オリンピック・パラリンピックを透明性のある、差別のないエシカルなオリンピックにするための活動も行っています。市場におけるエシカルの原点は滋賀の三方よしにあると考えています。

監 事



(公財)滋賀県産業支援プラザ
常務理事

中西 道幸

産業支援プラザでは、中小企業の皆さんとのコミュニケーションを大切に、質の高い支援やサービスを提供することにより、活力ある滋賀の産業・経済の発展に貢献してまいります。



(株)滋賀銀行
総合企画部 CSR室長

辰巳 勝則

地球温暖化防止・経済のグリーン化の実現は喫緊の課題です。滋賀銀行は、琵琶湖湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として、「環境経営」を主軸とした「CSR」を追求しています。経済の血液である「金融」の役割を通じて、環境・経済・社会が統合的に向上した持続可能な地域づくりを目指すため、積極的に滋賀GPNの活動に参画してまいります。

「第3回定時会員総会」を開催しました

- 開催日: 2015年6月5日(金) ●会 場: コラボしが21(大津市)
- 出席会員数: 277団体(うち委任状190団体) ●出席者数: 118名



たくさんの会員の皆様にご出席いただき、会場は熱気に包まれました



← 三日月知事にご祝辞をいただきました

→ 新会長に就任した秋山道雄の挨拶



総会終了後の会員交流会では、会員同士が名刺交換や談笑する姿が見られました

幹事

幹事には、29団体の会員に組織としてご就任いただき、5つの部会に分かれて活動を進めています。

【活動の一例】



事業者実践部会担当
「事業所見学会」



暮らし方普及部会担当
「三方よしエコフェア」



会員活動部会担当
「ビジネスメッセ出展」

アインズ(株)



取締役

谷 康夫

当社は、今年度、全社員が「すべてのステークホルダーの“よかったSmile”のために私たちは存在する」という企業理念のもと、印刷を通じて環境に配慮した商品を提供し、人と地球にやさしい企業を目指します。

旭化成住工(株)



管理部 環境安全課
担当課長

松宮 秀典

当社が滋賀GPNに参加して丸10年。その間ずっとお世話になった土屋前会長が退任され、新たな転機を向かえる滋賀GPNを、秋山新会長の下さらに拡大発展するよう共に支えていきます。

(株)エフエム滋賀



専務取締役

森山 昭裕

FM滋賀は本年12月1日で開局20周年を迎えます。「生活必需ラジオ」を標榜し、日々の情報発信やイベント展開に励んでおります。今後は滋賀GPNの広報を担うべく取り組んでまいります。

近江鉄道(株)



管理部 総務課 係長

藤原 智章

私たちは社会の一員であることを自覚し、広く社会とのコミュニケーションを図り、環境に配慮した事業活動を行い、地域・社会の発展に貢献できるよう取り組みます。

大阪ガス(株) 滋賀事業所



滋賀地域共創チーム

青木 寛

本年4月より参加させていただいております。エネルギー事業者の視点で、滋賀地域の環境保全に貢献できる様、会員のみなさまと一緒に取り組んでいきたいと考えております。生粋の滋賀県人です。

(株)木の家専門店 谷口工務店



代表取締役

谷口 弘和

私たちは、住む人と環境に配慮した家づくりを行っており、社内でもグリーン購入をはじめとした身近にできるエコ活動を推進しています。今後も持続可能な社会の実現に向けて邁進して参ります。

上西産業(株)



エースウエア営業部

梶 正嗣

当社事業のプラスチック資源を再利用したガーデニング用プランターの利用促進とともに、得意なガーデニングを通じて草花を愛する心を広めながら、滋賀GPNの活動も全国に広めていきたいです。

新江州(株)



経営企画部 営業支援グループ室長

中川 武司

設立当初から5年間、参加をしていましたが、昨年秋より再び参加させていただきました。10年ぶりの参加ですので、プランクがあります。よろしく御指導のほどをお願いいたします。

(株)ダイフク



CSR本部 環境品質グループ長

横地 富重

ダイフクは、環境ビジョンで「お客さま、社会、そして地球環境の保全に貢献」を掲げています。滋賀GPNの活動を通じ、各企業・団体等と連携し環境負荷低減活動を進めていきたいと思っています。

たねやグループ



(株)たねや 総務部労務課
係長

木田 幸司

たねやグループでは新たにオープンしました コリーナ近江八幡で、お菓子の原材料を自ら手掛ける事にも挑戦し、食の安心安全を追求しています。近江の豊かな風土に感謝し、お菓子作りに励んでいます。

日本電気硝子(株)



環境管理部 担当部長

伊藤 俊一

グリーン購入について、知ることが増えるにつれて、誰かに伝えたい気持ちが強くなりました。会社の人や、スーパーで毎日お買い物をする人、お小遣いでほしいものを買う子供たちにです。

びわ湖パナソニックファミリー会



パナソニックライフアシスト ライフカーナー事業部
八日市総務環境課
課長

日隈 等

4月より前任者に引き続いて、担当させていただくことになりました。今後、各幹事団体の皆様と協力して、グリーン購入の推進による地域発展への貢献と滋賀GPNの発展に努めてまいります。よろしくお祈りします。

びわ湖放送(株)報道制作局 報道制作部
次長 **井上 みゆき**

びわ湖放送では滋賀県民に必要とされる地域メディアであるため日々県民の皆さんに役立つ情報をお届けしています。また滋賀にこだわるメディアとして環境にやさしい暮らしについても考えていきたいと思っています。

(株)ヨシダヤ代表取締役
吉田 近博

主に滋賀湖西地区で事務機器、文具、印刷、オフィス家具を中心に販売を営む中、ここ数年は環境商材も積極的に販売してまいりました。幹事の名に恥じないよう、環境をより良くしていく活動に邁進します。

(公財)淡海環境保全財団滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
キャリア
アドバイザー **来田 博美**

温暖化防止活動の一環として、会員の皆様と連携し、多くの県民の皆様に対してグリーン購入を啓発してきました。今後もさらに活動の充実とネットワークの拡大で、滋賀GPNの発展に協力したいと考えています。

滋賀県生活協同組合連合会事務局長
藤田 豊

「滋賀県消費者基本計画」には、「環境に配慮した消費者行動の推進」が謳われています。自ら考え行動する「消費者市民社会」の確立に向けて、滋賀GPNの活動は、これからも大切な役割を担っていくと思います。

滋賀県地域女性団体連合会常任理事
井上 多佳子

環境にこだわる滋賀県の地域女性団体として、びわ湖を守る石けん「エコグリーン」、廃油から作る「手洗い泡石けん」の利用拡大と共に、グリーン購入の実践を日々の暮らしに広めたいと思います。

滋賀県農業協同組合中央会農業対策部 次長
白井 伸吾

「地産地消」は、フードマイレージや健康など、あらゆる意味で「エコ」につながっています。食の重要性や環境が問われている今、会員の皆さん、共に「食」と「農」について考えましょう。

滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル代表
長谷 美智留

グリーン購入の普及のため、学生の立場からできることが何か考えて活動しています。現在は地産地消を広める活動に力を入れています。一生懸命活動して参りますので、よろしくお願いたします。

滋賀県滋賀県 会計管理局管理課
課長補佐 **寺村 功**

グリーン購入は誰もが簡単に取り組めるものの、その内容は常に進展しており奥が深いものでもあります。グリーン購入の「今」を着実に把握し、将来も継続して取り組んでいきたいと思っています。

甲賀市市民環境部 生活環境課
環境政策係
係長 **伊東 正樹**

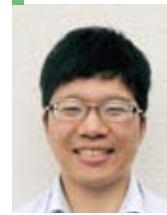
官民一体となりグリーン購入を推進することで、「地球環境にやさしい滋賀県」の認知度向上になればと思います。まだまだ勉強不足ですが、会員皆様のお力をお借りし、努力してまいります。

高島市総務部行政課
桂田 卓実

この機会にグリーン購入について理解を深めるとともに、自分達の仕事に生かしていけることやさらに取り組んでいけることはないのか等改めて考え直すことができれば良いと考えています。

米原市会計室
松永 剛英

平成23年度より独自の環境方針「まいばらエコスタイル」を策定し、グリーン購入にも取り組んでいます。滋賀GPNの活動で学んだことを活かし、グリーン購入の活動を広げていきたいと考えています。

守山市総務課
木下 真元

守山市では、市庁舎等における省エネ・節電対策の推進やゴーヤを使った緑のカーテン活動などに取り組んでいます。滋賀GPNの活動を通して、さらに環境保全に努めてまいります。

甲良町総務課
白波瀬 愛

甲良町では、緑のカーテンなど積極的な省エネルギー対策を行っています。接続可能な社会の実現に向けて、グリーン購入の促進に努めてまいります。

竜王町総務課
後藤 麻理奈

グリーン購入についてさらに周知が広がるよう、まず自分から学んでいきたいと思っています。担当・幹事ともに1年目ではありますが、全力を尽くしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

※下記3団体担当者は理事兼任のため、メッセージは省略いたします。

(株)沢田商店**(株)平和堂****NPO 碧いびわ湖**

Relay
Talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

特定非営利活動法人
おおつ環境フォーラム

事務局長 森口 行雄



おおつ環境フォーラムは平成13年12月に大津市と市民による地域環境保全活動のパートナーシップ組織として誕生しました。活動の柱となるのは大津市が策定した環境保全のための地域行動計画「アジェンダ21おおつ」を実践する取り組みです。

そのためにフォーラムに参加した市民が自主的にいくつかのテーマを掲げて実践活動を推進してきました。日常的なゴミの削減、省エネ・創エネの推進、川や湖の生きもの観察・ビオトープ・里山保全等の自然環境保護、生ごみの堆肥化、エコクッキングの普及、景観の優れたまちづくり等々、市民感覚の視点から大津市域における環境改善を念頭において、広く地球温暖化防止や生物多様性保全につながる活動を継続的に実施しています。その他にも地域の事業者と連携して環境マネジメントシステムの普及を図るなど、活動は多岐にわたっています。



田んぼの中の生きもの観察会



小学校の総合的学習支援

平成25年3月にNPO法人格を取得しました。また滋賀GPNの会員となりグリーン購入への関心を高めています。私たちの目指すところは持続可能な循環型社会をつくることです。そのために、地域を構成する諸セクター（市民・企業・学校・行政等）との協働を更に推進し、琵琶湖畔の環境に恵まれた「大津に住みたい、大津で子育てをしたい」という市民を増やしていきたいと願っています。

自然家族事業南部版「里の日」
さつまいも収穫

今回は、関西エムアイ株式会社さんをお願いします。

「滋賀GPN会員」アピールのお願い

グリーン購入に取り組む滋賀GPN会員であることを広く社会にアピールし、共に滋賀GPNの活動を広げてください。

1 滋賀GPNシンボルマークの活用

名刺、会社案内パンフレット、製品案内パンフレット、CSR報告書等の印刷物やホームページ等に「滋賀GPNシンボルマーク」を掲載してください。

2 滋賀GPNキャラクター「エコペン」の活用

名刺、会社案内パンフレット、製品案内パンフレット、CSR報告書等の印刷物やホームページ等に「滋賀GPNキャラクター『エコペン』」を掲載してください。

3 滋賀GPNホームページへのリンク

ホームページにて、滋賀GPNホームページとの相互リンクをお願いします。

※リンク先を事務局までお知らせください。

4 「滋賀GPN会員証」の掲示

5 「びわ湖環境ビジネスメッセ」出展ブースでのシンボルマーク掲示(出展者のみ)

「シンボルマーク」をA4判パネルにして配布しますので、掲示をお願いします。

6 その他

その他様々な方法により、滋賀GPN会員であることをアピールしてください。



新規会員から ひとこと

2015年2月1日から2015年7月31日までの入会者
(団体名の50音順)

(特活)NPO子どもネットワークセンター天気村

代表理事 山田 貴子

子ども達と自然の中で遊びきる事で自然に考慮した本質的な考え方に気づかされ、「ものづくりの知恵と技術」こそ、その結晶と感動しています。

サンキューファインホース夢プロジェクト(steedプロジェクト)

代表 中村 正

競走馬の使用済み調教用ゼッケンを活用したバッグを、県内数か所の障害者作業所が力を合わせ商品化し販売しています。昨年滋賀GPN会長賞を受賞しました。

電気硝子ユニバーサポート(株)

営業グループ 野坂 久美子

当社は、日本電気硝子(株)の特例子会社として障害者が生き活きと働ける職場作りを目指しています。みんなで、グリーン購入を広げます。

NPO法人 愛のまちエコ倶楽部

事務局長 増田 隆

東近江発地域資源循環システム「菜の花エコプロジェクト」の実践を始め、農業体験など地域を元気にする様々な取組みを行っています!

(一社)ガールスカウト滋賀県連盟

連盟長 霜村 多美子

就学前1年から成人までの会員で構成される社会教育団体です。子どもの頃からグリーン購入に関わり、環境について学びたいと思います。

(株)シガドライウィザース

代表取締役 田中 秀彦

病院寝具貸与事業と福祉医療関連事業を営む中、強毒性ウイルスや有害な細菌(芽胞菌を含む)を殺菌する食品添加物由来の消毒剤を開発しました。(厚労省薬事承認済)

BEAUTY GRACE 滋賀校

校長 平川 直子

キレイ×愛され続ける=豊かな人生! 女性の幸せ=男性の幸せ=世界平和!をコンセプトに女性のブラッシュアップスクールを運営しております。

(株)アスア

戸川 岳

滋賀県トラック協会様と共に、運送事業者の皆様が持続可能な環境負荷低減事業(グリーン・エコプロジェクト)を展開しております。

(株)クサツエストピアホテル

総務部 大岡 貴子

地域社会とのつながりを大切に、快適で安らぎの空間を演出するホテルとして、街に、人に、必要とされる存在であり続けます。

食まちアグリゲーション

代表 渡邊 維子

美味しくて、新鮮で、安全性の高い「近江野菜」の魅力を発信し、農産物や食を通して人・まちを元気にする事業を行っています。よろしくお祈りします。

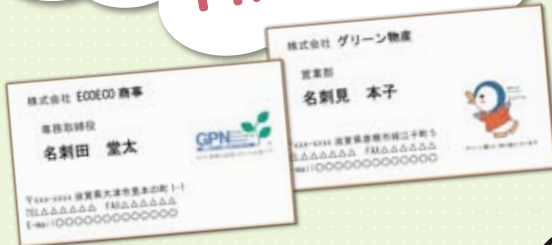
(株)丸宮穀粉

松田 祐一

米糠と小豆残さを活用し発酵堆肥生産を行っています。田んぼに還元しお米を生産することで、循環型社会構築に取り組んでいます。

現会員数：468 (2015年7月31日現在) [企業393、行政21、団体54]

「シンボルマーク」
「キャラクター『エコペン』」を
活用して企業の環境姿勢を
PRしませんか?



滋賀GPNシンボルマーク



滋賀グリーン購入ネットワーク
グリーン購入に取り組んでいます

滋賀GPN会員は、「滋賀GPNシンボルマーク」や「キャラクター『エコペン』」を無料で使用できます。名刺、会社案内や商品紹介のパンフレット、ホームページ等でご活用ください。

※詳細はホームページをご覧ください。

滋賀GPNキャラクター エコペン

エコペンは、グリーン購入の取り組みを応援するマスコットキャラクターです。取り組み姿勢のアピールに、従業員やお客様への環境意識啓発に、ご活用ください。

※必ず、「滋賀GPNキャラクター エコペン」の文字と一緒に掲載してください。



エコペンA



エコペンB



エコペンC



会員発工商品情報

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

～古来から伝わる、近江の麻～

丸洗い可能 近江ちぢみ 本麻クール敷パッド

麻は熱伝導性が高いので、涼しく古来より使われてきました。特に近江ちぢみはその独特のしぼで涼しさは抜群の素材といえます。その地元の近江ちぢみの麻生地を使い、地元で加工した純滋賀県産の本麻の敷パッドは、輸送などにかかるCO2を削減しています。

従来の本麻敷ふとんと違い、多針キルトによって軽量で、家庭で丸洗いできます。

◎サイズ：105×210cm

◎麻 100%

◎生地表：近江ちぢみ

裏：平織

◎価格：22,680円 (税込)



〈お問合せ〉ねむりのプロショップ Sawada

株式会社 沢田商店
〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町 13-27
TEL：0749-62-0057 FAX：0749-62-0094
E-mail：info@sleep-natura.jp

～活かした土がいのちを育む～

えんこう米(うるち米、もち米、黒米、赤米) 黒米粉、赤米粉

私たちの米作りに不可欠なのは事業所との連携です。なぜなら、事業所の食堂等から出る生ごみをリサイクルした堆肥を利用する「フードリサイクルエコ農法」で、農薬や化学肥料を極力使わずに、環境に配慮した米作りを実現しているからです。長年この農法に取り組んできたことで、

農業で「良い土」とされる土の約1.5倍の微生物が棲む土で米づくりができるまでになりました。価格等詳細はお問合せ下さい。



〈お問合せ〉株式会社 近江園田ふあーむ

〒523-0075 滋賀県近江八幡市野村町 2504-1
TEL：0748-36-8586
FAX：0748-36-6518

編集後記

昨年に引き続き、地元の自治振興会で環境委員に選ばれました。今年は副委員長となり大役に戸惑う中、保育園で『食育』をテーマとするイベントがありました。『親子で一緒に野菜を育てよう!!』ということで、100名を超す保護者の方々にプランターやコンテナを使ってミニトマト栽培の講習会を開催させていただきました。みなさん真剣に聞いてくださり大盛況となりました。植物を育てることで、参加者の皆さんが命、資源、環境などに興味を持たれ、安全で安心な「食」について学んでくださるようになれば幸いです。自分で栽培した採れたての野菜の味は、やっぱり最高ですよ!

このところテレビでも家庭菜園の番組が多くなったと思います。でもまだまだ植物の栽培知識をよく知らない方は多くいらっしゃる。うまく栽培できずにあきらめてしまって、園芸への興味がなくなった方も多くいらっしゃるようです。そのような方へ、できるだけ失敗されないようにアドバイスできるようになりたいと考えています。グリーン購入と関連させて、滋賀GPNのイベントで何かできないかと思う今日この頃です。

(幹事・会員活動部会／上西産業(株) 梶 正嗣)

昨年の秋から幹事として再び参加させていただくことになりました。実は私は滋賀GPNの設立からピアンカ船上で行われた創立5周年記念事業の年まで参加していました。

そんな中で先日、有志でつくる地域エネルギー研究会で「真庭バイオマスツアー」(岡山県)に参加する機会がありました。エネルギーの地産地消の考え方としてバイオマス発電の紹介等がありました。行政を始めとする生活に結びついた電力の供給、木材資源を熱源にした市役所の冷暖房までも見学コースに入れて広く公開されているのを見て、時代はここまで来ているのかと思いました。また、若い方々の雇用も生んで、まちづくりの中心にもなっていました。

偶然、この見学の10日後に長浜工業会の見学会で、伊吹山の近くのバイオマス発電の会社に行きました。クリーンエネルギーを利用して、雪の降る湖北でマンゴーを栽培する試みもされていました。

グリーン購入の考え方が「抑制」だけではなく、若い方々の雇用を生み、まちづくりの一環となって生き生きとさせることにもつながっている。それぞれ大変参考になった見学会でした。

(幹事・会員活動部会／新江州(株) 中川 武司)



編集・発行／一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586
Eメール:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:http://www.shigagpn.gr.jp/

